

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-48	高等学校	福祉	介護福祉基礎	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
7実教	福祉702	介護福祉基礎		

1. 編修の基本方針

介護の意義と役割、介護を取り巻く状況や介護を必要とする人と生活、介護におけるリスクマネジメントなどの基礎的・基本的な内容について、実践的・体験的に学べるように編修した。「介護福祉基礎」は、福祉科、総合学科の福祉系列、普通科の福祉コースなどさまざまな学校で履修されることから、職業として介護に従事するために介護福祉士を目指して学ぶ生徒だけでなく、介護に興味を持つ生徒など多様な生徒が履修することにも配慮し、介護に関する基本的な知識と技術を身につけられるようにした。

2. 対照表

●全体的な特色

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見開き2ページ展開	・各節はすべて見開き2ページとし、節の冒頭からねらいを示すことで、学習内容に対する興味・関心を喚起させ、自ら学ぶ姿勢を養えるようにした(第2号)。	全般
スタディ	・実践的なワークを通して、生徒が実際に考え行動することで、真理を追究する態度を養うことができるよう配慮した(第1号)。さらに、自ら実践し解決する能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう配慮した(第2号) ・福祉や介護に関する職種や資格を紹介することにより、将来の職業選択の参考になるよう配慮した(第2号)。	p. 20-21, 60-61, 132-133, 172-173 など p. 58-59など
コラム	・具体的な内容や事例を通して、幅広い知識と教養を身につけ(第1号)、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにした(第2号)。	p. 51, 55, 91, 143など
資料	・本文の理解を助ける資料を掲載し、幅広い知識と教養を身につけることができるようにした(第1号)。	p. 11, 15, 35, 44, 47など
豆知識	・本文の理解を深める豆知識を掲載し、幅広い知識と教養を身につけることができるようにした(第1号)。	p. 10, 14, 16, 40, 52など

<p>考えてみよう 調べてみよう 話しあってみよう</p>	<p>・本文の内容に関するテーマについて深く考えたり、グループで話しあったりすることにより、自他を重んじ、協力して社会の形成に参画する態度を養うことができるようにした（第2・3号）。</p>	<p>p. 9, 10, 16, 45, 46 など</p>
---------------------------------------	---	------------------------------------

●各編における特色

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>第1編 介護の意義と役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護では QOL を高めることが重要であることへの理解が深められるようにした（第4号）。 ・尊厳を支える介護についての理解を深めることにより、個人の価値を尊重する大切さや、生命の尊さを学ぶことができるようにした（第2・4号）。 ・高齢者虐待、障害者虐待などを取り上げ、虐待を防止するための支援が必要であることを理解できるようにした（第4号）。 	<p>p. 8 p. 9 p. 12, 13, 15</p>
<p>第2編 介護福祉の担い手</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、介護福祉士になるために学んでいる生徒や、新たに介護に興味を持った生徒が、介護に対して魅力ある仕事だと思えるような記述に配慮した（第2号）。 ・EPA（経済連携協定）にもとづく外国人介護福祉士候補者の受け入れや外国人技能実習制度により介護の仕事に従事する外国人について取り上げた（第5号）。 ・終末期（人生の最終段階）のケアについて取り上げ、生命や死について考えられるようにした（第4号）。 ・介護従事者として踏まえるべき倫理として、日本介護福祉士会倫理綱領を取り上げた（第1号）。 ・ボランティアの活躍を取り上げ、ボランティア活動に自ら取り組んでみたいと思える記述を心がけた（第3号）。 ・介護福祉士の資格を取り、福祉で活躍している先輩のメッセージを掲載することにより、将来の自分をイメージできるようにし、日々の学習が将来の職業において大切であることが分かるようにした（第2号）。 	<p>p. 26-33 p. 29 p. 42-43 p. 44 p. 56-57 p. 58-59</p>
<p>第3編 介護を必要とする人の理解と支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする人を理解することにより、介護従事者としてどのように支援したらよいか考えられるようにした（第3号）。 ・傾聴・受容・共感の姿勢を学ぶことにより、他人を思いやる気持ちなどを培うことができるようにした（第2号）。 	<p>全般 p. 91</p>
<p>第4編 介護における安全確保と危機管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理の大切さを学び、身体の健康とともに、心の健康も大切であることが理解できるようにした（第1号）。 	<p>p. 148-149</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の標準予防策（スタンダード・プリコーション）を取り上げ、手洗い、手袋、咳エチケットとマスクなど具体的な方法を示して感染症の予防を実践できるように配慮した（第1号）。 	p. 157, 174-175
--	--	--------------------

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条の各目標を達成するため、以下の点に留意し、本書を編修した。

学校教育法第五十一条	
<p>一 義務教育として行われる普通教育の成果をさらに発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校でのボランティア活動や高齢者・障害者との交流体験などにより福祉に興味を持った生徒が介護を実践的に学び続けられるようにした。 ・感染症の予防対策について実践できるように具体的に取り上げた。
<p>二 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の職業として介護の専門職になる場合の参考となるよう資格取得方法を紹介し、基本的な介護技術を習得できるように取り上げた。
<p>三 個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法律や制度などを学び、それらの知識を深めるとともに、それらを通して今後の生活の課題解決に向けて考え、行動できる力を養えるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-48	高等学校	福祉	介護福祉基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	福祉 702	介護福祉基礎		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

■紙面構成と表現

- (1) 本文は編・章・節で構成し、各節を見開き2ページ展開とした。各節に学習のねらいを示すことにより、生徒が学習内容に対する興味・関心を持ち、要点を正確に把握できるよう配慮した。
- (2) 図や写真など豊富な資料を掲載し、学習内容の理解を深められるよう工夫した。
- (3) 本文にはユニバーサルフォントを使用し、読みやすくなるよう配慮した。また、外国人生徒が増えつつある現状と多様性への対応を考慮して、原則として小学校学習指導要領の学年別漢字配当表の漢字以外にはふりがなをつけて、多様な生徒が理解できるようにした。

■内容上の工夫

- (1) 「考えてみよう」「調べてみよう」「話しあってみよう」などを必要な箇所に入れ、主体的・対話的で深い学びに向けた授業で活用できるよう配慮した。
- (2) 「資料」として法律などを掲載し、「コラム」として事例を取り上げるなど、理念や制度を具体的に理解できるようにした。
- (3) 専門用語などについては側注で解説し、理解を深められるようにした。
- (4) 「豆知識」として、本文の内容の理解をさらに深められるようにした。
- (5) 編とびらには、各章のねらいと「〇×クイズ」を入れ、生徒が学習内容に対して興味・関心を持てるよう工夫した。
- (6) 各編末に編末問題を掲載し、学習した内容の定着をはかったり、さらに知識を深めたりできるようにした。
- (7) 各編末に独立したページ「スタディ」を入れ、「考えてみよう」「やってみよう」などを豊富に掲載することにより、理解を深めたり、生徒が自ら学んだりすることができるよう工夫した。
- (8) 巻末に法律や障害者・高齢者の福祉サービスの表を入れ、知識が深められるようにした。
- (9) カラーページは、「介護福祉基礎」で学ぶことの具体的なイメージがつかめるように、介護施設を利用する高齢者や施設で働く人たちの写真を掲載した。また、在宅や施設での危険に気付くためのトレーニングができるイラストを掲載した。

■ 配列

(1) 学習指導要領に沿った配列にした。

(2) 参照ページや関連する分野を適宜掲載することにより、学習内容の重複を避けるとともに、理解を深められるようにした。

■ 各分野について

第1編 尊厳を支える介護： 尊厳や利用者主体などの理解が深められるよう、「考えてみよう」を入れるなど工夫した。

第2編 介護福祉の担い手： 将来、介護の仕事に就きたいと考えている生徒や、介護に興味を持っている生徒が、介護の仕事に対してやりがいや魅力を感じられるような記述を心がけた。

第3編 介護を必要とする人の理解と支援： 介護の基本的な知識と技術を習得できるように、基本的な介護技術を取り上げた。また、介護の基本的な内容を学ぶにあたり、科目として「介護過程」を履修しない生徒でも、介護過程の基本的な内容について知っていることは将来介護に関わる場合に役立つため、介護過程を「発展」として掲載した。

第4編 介護における安全確保と危機管理： 介護現場で出会うことが多い感染症について具体的な感染対策を取り上げた。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 介護の意義と 役割	第1章 尊厳を支える介護	(1)ア	p. 8-15	15
	第2章 自立に向けた支援	(1)イ	p. 16-19	
	スタディ	(1)イ	p. 20-21	
	編末問題	(1)ア・イ	p. 22	
第2編 介護福祉の担 い手	第1章 介護従事者をとりまく状況	(2)ア	p. 24-33	40
	第2章 介護従事者の役割と介護福祉士	(2)イ	p. 34-43	
	第3章 介護従事者の倫理	(2)ウ	p. 44-49	
	第4章 介護実践における連携	(2)エ	p. 50-57	
	スタディ	(2) ア・イ・ウ ・エ	p. 58-61	
	編末問題	(2) ア・イ・ウ ・エ	p. 62	
第3編 介護を必要と する人の理解 と支援	第1章 介護を必要とする人と生活環境	(3)ア	p. 64-67	80
	第2章 高齢者の生活と支援	(3)イ	p. 68-73	
	第3章 障害者の生活と支援	(3)ウ	p. 74-87	
	第4章 介護を必要とする人の生活を支える支援	(3)ア・イ・ウ	p. 88-109	
	第5章 介護福祉サービスの概要	(3)エ	p. 110-125	
	第6章 介護過程	(3)ア・イ・ウ	p. 126-131	
	スタディ	(3)ア・イ・ウ	p. 132-133	
	編末問題	(3) ア・イ・ウ ・エ	p. 134	

第4編 介護における 安全確保と危 機管理	第1章 介護における安全と事故対策	(4)ア	p. 136-145	40
	第2章 介護従事者の健康管理	(4)イ	p. 146-153	
	第3章 感染対策	(4)ウ	p. 154-167	
	第4章 福祉用具と介護ロボット	(4)エ	p. 168-171	
	スタディ	(4)イ・ウ	p. 172-175	
	編末問題	(4)ア・イ・ウ ・エ	p. 176	
巻末資料			p. 177-189	
			計	175

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-48	高等学校	福祉	介護福祉基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7実教	福祉702	介護福祉基礎		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
p.126 -131	第6章 介護過程	1	<p>「内容の取扱い」の(2)ウ</p> <p>〔指導項目〕の(3)のアについては、サービス利用者の生活歴やその環境、家族の状況、地域の状況などについて扱うこと。イについては、具体的な事例を通して、高齢者の生活課題やニーズについて扱うこと。ウについては、具体的な事例を通して、障害者の生活課題やニーズについて扱うこと。</p>	6
合計				6